

「魚の国のしあわせ」プロジェクト実証 レジストレーションフォーム

企業・団体名	小田原さかな普及の会			
参加主体 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 生産者・生産者団体	<input type="checkbox"/> 卸売	<input type="checkbox"/> 小売	<input type="checkbox"/> 外食
	<input type="checkbox"/> メーカー	<input type="checkbox"/> 地方公共団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他(任意団体)	
実証項目 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 売り場提案	<input type="checkbox"/> イベント提案	<input type="checkbox"/> メニュー・商品提案	<input checked="" type="checkbox"/> 食育活動
	<input type="checkbox"/> その他(右に記入)			
実証内容	テーマ	地元で水揚げされる魚を使った料理教室等による魚食普及の取り組み		
	時期 (開始時期～終了時期)	年中		
	取組内容	<p>水産物の消費拡大を図るため、地元で水揚げされる魚類をはじめ、市場に入荷する生鮮魚類を料理素材として、一般消費者に安くておいしい魚の調理方法を料理実習会やイベント等を活用し、学校とも連携しつつ普及するとともに、食生活の改善を推進することを目的に、次の事業を行い、さらに、マスコミへの情報発信にも努める。</p> <p>事業の内容</p> <p>(1) 地域料理実習会 各地域の婦人団体、消費者団体が主催する料理実習会に生鮮魚類を料理素材として提供し、今年度は特に安くておいしい小田原の地魚の魚食普及に努め、「魚の食文化の発信」事業として、一般市民への参加を広く呼びかける(17年度に開催された「第25回全国豊かな海づくり大会小田原地域大会」から毎年継続)。 年間 20会場 約500人 (うち10回は旬の地魚を使い、簡単な捌き方を学ぶ教室を開催)</p> <p>(2) 市民等参加型イベントの活用 「小田原みなとまつり」等市民参加型イベントで、広報活動等が可能な事業を支援し、北条一本ぬきカマス(通称:かます棒)の販売等魚食普及に努める。 ・小田原あじ・地魚まつり 約24,000人(全体来場者数) ・子育て支援フェスティバル 約5,000人(全体来場者数) ・小田原みなとまつり 約58,000人(全体来場者数) ・第34回全国都市緑化はちおうじフェア ・湘南にのみやふるさとまつり</p> <p>(3) 小田原の魚ブランド化・消費拡大協議会との共同事業 初心者を中心とした男女及び子育て世代の料理教室を小田原の魚ブランド化・消費拡大協議会と共同で行い、家庭における小田原の地魚の消費拡大に努める。 男性のための料理教室 2回 女性のための料理教室 1回 子育て世代等のための料理教室 2回 計5回</p>		

企業・団体概要

会社・工場所在地	〒250-0021	小田原市早川1-10-1	公表の可否	<input checked="" type="checkbox"/>
代表者氏名	会長 古川 孝昭		公表の可否	<input checked="" type="checkbox"/>
従業員数	17団体20名		公表の可否	<input checked="" type="checkbox"/>
年間売上	なし		公表の可否	<input checked="" type="checkbox"/>
ホームページ	なし		公表の可否	<input checked="" type="checkbox"/>
担当者	小田原市経済部水産海浜課		公表の可否	<input checked="" type="checkbox"/>
TEL	0465-22-9227		公表の可否	<input checked="" type="checkbox"/>
FAX	0465-22-5343		公表の可否	<input checked="" type="checkbox"/>
E:mail	suisan@city.odawara.kanagawa.jp		公表の可否	<input checked="" type="checkbox"/>